

西藤島 公民館

藤と桜が美しい
「にやかしのまち」



世帯数	1,814
人口	4,561



西藤島地区は、日野川・足羽川・九頭竜川に囲まれて、昔ながらの集落と新興住宅が融合する地区です。沿道には県立武道館をはじめ、日野川浄化センター、中消防署西分署、福井市防災ステーション、福井ホースパークなどの公共施設が立ち並んでいます。日野川堤防にはソメイヨシノや枝垂れ桜が咲き誇り、足羽川の桜並木にならぶ美しい景観を眺めることのできる名勝地ともいえます。堤防沿いの「ふれあい遊歩道」は、ジョギングを楽しむ人たちで通年にわたり賑わっています。

中藤島 公民館

ずっと住みたい
笑顔あふれるまち 中藤島



世帯数	5,240
人口	12,264



中藤島地区には九頭竜川が流れ、身近な川にすむアユの生息環境を保全するため、九頭竜川中部漁業協同組合と協働し、アユの産卵場づくりを実施しています。10～11月頃の産卵期を前に、アユは小石に卵を産み付ける習性を踏まえ、子どもたちが浅瀬にある大きい石を取り除き砂利を平らにし、アユが産卵しやすい環境を整えるイベントを開催して、地区住民が九頭竜川への親しみや愛着を深める取り組みを行っています。

一光 公民館

地域は家族



世帯数	22
人口	25



一光地区は福井市の西に位置し、四方を山に囲まれた静な所です。福井市の秘境（チベット）といわれ、国見岳と大芝山を源流とした一光川に沿って、上一光、下一光、五太子の三部落がひっそりと点在しています。この様に自然豊かな土地柄すぎてご多分に漏れず超限界！！集落に近い現況となっています。しかし、80才を超える住民が多いが、月3～4回のデイホームと、週1回のスティックリングの練習や公民館事業を楽しみ、公民館を唯一の心のよりどころとしています。

殿下 公民館

深めよう 地域のつながり
広めよう 殿下の魅力



世帯数	168
人口	332



殿下地区は福井市の中心部から西へ20km、中山間地に位置し、歴史と伝統並びに豊かな自然に恵まれています。殿下公民館は、殿下中学校の閉校に伴い、令和7年度に旧中学校跡に移転しました。これまでは、ジビエの活用方法を学んだり、群生する竹で灯籠を作ったりと、殿下の特色を生かした学習活動に取り組んできました。このノウハウを活かしながら、これまで以上に、地区住民とのつながりを深めていきたいと思っています。

河合 公民館

田園に夕日、
橋と絆が輝くまち



世帯数	1,346
人口	3,612



河合地区は、福井市の北部に位置し、地区面積の7割が田園地帯という自然豊かな環境です。平野部に広がる夕日の景色は圧巻で心が癒されます。また、天池橋を渡るときに見える中角橋は雄大で地区が誇る抜群の景色です。九頭竜川が近いことから、公民館では防災に関する事業が活発に行われ、また田園地帯に音を響かせたいという想いから、音楽活動が盛んで、多彩なジャンルのコンサートを年8回ぐらい開催しています。

森田 公民館

人と人をつなぐまち森田



世帯数	6,564
人口	16,479



森田地区は、90年代後半から始まった土地区画整理事業によって、現在は人口が福井市の地区で一番多くなっています。人口の増加により住民同士の関係が希薄にならないように、住民同士をつなげる様々な事業を実施しています。例えば、比較的高齢者が集う文化祭と若者が集うフェスタを、今までは個別に実施していましたが、同時に開催することによって幅広い年齢層が集えるようなイベントにして開催しています。

越廼 公民館

夏の星空
探索隊



世帯数	483
人口	907



越廼地区は、南北に細長く海と山に囲まれた自然豊かな地域です。海沿いに位置する公民館の屋上からは、広大な日本海が一望でき、毎年、夏の夜には屋上にある大きな天体望遠鏡を使った「天体観測会」を開催しています。夏の星座や流れ星、月のクレーターなど、美しい星空が堪能できます。参加者の方々からは、「こんなにきれいな星空はなかなか見られない」との感想をいただいています。

清水西 公民館

ほっとするまち
ありがとうが響き合う 清水西



世帯数	1,055
人口	2,860



清水西地区は、数々の歴史が残る旧集落と新興住宅地志津が丘の人口比が半々で、地域のつながりを深める場として公民館が重要な役割を担っています。中でもしみず西遊輝は、三世代交流を理念に、夏はそうめん流し、秋は公民館まつりの子ども広場、冬は恒例のイルミネーションと、子どもから高齢者まで楽しめるイベントを展開中。来年は、公民館誕生20周年の節目の年、地域活性化の一翼を担える事業を更に計画していきます。

明新 公民館

出会ってめいしん
育ててめいしん



世帯数	6,596
人口	15,599



明新公民館は今年創立50周年を迎え、10月には市長ご隣席のもと記念式典を開催しました。明新地区は世帯数が最大の地区で才能豊かな方が多くいます。その方々による地域に発信する事業を企画するように心がけています。令和4年開設のコミュニティルーム「ふらっと」は、放課後の学習、小さなお子様連れのお母さんの読書タイムなど幅広い世代の方に利用されています。令和6年には、ゆるキャラの「めいしんちゃん」が誕生しました。これからも明新公民館は進化、発展していきます。

安居 公民館

つたえようつなげよう
安居の郷



世帯数	1,138
人口	2,919



安居地区では、6月初旬、未更毛川にゲンジボタルが飛び交います。また、県絶滅危惧Ⅰ類の水田雑草ミズアオイをはじめ多くの希少な生きものも息づく里地里山です。一方、歴史をひも解くと、「オシッサマのお渡り」や「オンモク様」など各神社のまつりが連綿と受け継がれています。豊かな自然や伝統文化は地域の方のたゆまぬ努力によって守られているのです。公民館は、地域の方と手を携えて、それらを次世代に繋ぐべく活動を行っています。

清水東 公民館

たのしみ∞まなび∞
つながり



世帯数	562
人口	1,665



清水東地区は、「すげの郷 清水東地区」をキャッチフレーズに、小羽山きららの森やカタクリの谷など、里地里山の資源を活かし、地域の魅力再発見を目的とした行事を実施しています。行事には、小中高生が企画や運営に携わり、高齢者も交えた三世代交流を大切にして、地区住民が「住み続けたい」と思う地区を目指しています。

清水南 公民館

花と緑にあふれ
歴史が息づくまち 清水南



世帯数	828
人口	1,958



清水南公民館は、3つの方針、①「心豊かな人情のまち」～ふるさと発見、魅力づくりプラン～、②「花と緑にあふれた潤いのあるまち」～花と緑がいっぱいエコプラン～、③「安心して暮らせる住みよいまち」～生き生き健康・安心安全プラン～を、各関係機関と協働・連携を深めながら、教育事業の講座にまちづくり事業と関係のあるものを取り入れるなど、「地域づくり」と「生涯学習」を一体化させて取り組んでいます。

清水北 公民館

自然と人が未来を紡ぐ
～豊かな森・里山が
みんなのあそびの場・学びの場～



世帯数	890
人口	2,201



清水北地区は、縄文時代より歴史のある朝宮・片粕地区と新たな開発でできたグリーンハイツ地区から構成されています。水田や里山など多くの自然があり、里山には杉林や雑木林など多様な森や折々の素晴らしい自然が広がっています。里山を生かし、トレッキングやコカリナコンサート、ネイチャーゲームを行い、地域を元気にしています。自然を守り活用しながら、人がかかやく元気なまちづくりを目指しています。

大安寺 公民館

地域で見守ろう
子どもの笑顔



世帯数	429
人口	1,052



大安寺地区では、子どもの数が減る中で、地域全体で子どもを見守る活動が行われています。昨年度から小学校と連携し、5・6年生の家庭科の時間を活用して、地域の高齢者と交流する「そば打ち体験事業」を実施しています。講師のお年寄りにやり方を教わりながら、子どもたちがそばをこねたり切ったり楽しそうに頑張っている姿は、とても微笑ましい光景でもありました。世代を超えた交流が、地域の温かさと絆を育んでいます。

本郷 公民館

人とひとで育む
ぬくもりの郷



世帯数	365
人口	926



本郷地区は、市街地より13km西に位置し17の集落が点在します。住み心地の良い自然豊かな環境で、楽しい地域づくりを目指しています。地区の課題である少子高齢化が進む中、子供達との交流を深め、保育園や小学校との事業を活性化させています。地域住民や自治会連合会の皆さんの協力を得、ふるさと花壇に花苗を植えたり、以前は荒地地だった小学校の登り口を整備しコスモスの種蒔きを実施。季節になると色々な花が咲き乱れます。

宮ノ下 公民館

満開のコスモス広苑に
恐竜出現！



世帯数	304
人口	769



宮ノ下地区では、去年コスモス祭りが5年ぶりに復活しました。コスモスとともに恐竜も出現して楽しい広苑となりました。またクラウドファンディングで沢山のご支援をいただきコスモス広苑のイメージアップに繋げる事ができました。今年も猛暑の中コスモスが咲いてくれることを願いながら準備が進んでいます。コスモス祭りを中心に色々な事業を通して、みんなが顔見知りの楽しい地域づくりを目指しています。

国見 公民館

地域の魅力を子ども達へ



世帯数	387
人口	847



越前海岸に位置する国見地区には風光明媚な自然とともに、歴史的遺産もたくさんあります。地域の未来を担う子ども達には、できるだけ多くの地域の魅力を理解してもらおうと、毎年、小学生には「ふるさと宝さがし」、中学生には「ふるさと探訪」と称して、地区内の名勝や旧跡を勉強してもらっています。

鶯 公民館

偉人が繋ぐ
地域の輪
「鶯」



世帯数	1,002
人口	2,703



鶯地区は、九頭竜川左岸後背湿地に位置し稲作中心の農業が盛んです。近年は、圃場整備事業を強力に推進して大規模営農方式による米作りが主流になっています。地元波寄町出身の偉大な政治家杉田定一（鶯山）先生の尽力により、九頭竜川の明治の大改修が行われ、その功績が今日の鶯地区の礎となっています。地区の夏祭り事業をはじめ公民館の様々な事業の中で、崇高な碩学の精神は今も生き続けています。

酒生 公民館

「さこう さいこー！」



世帯数	1,123
人口	3,073



酒生地区は、福井市の東部にあり、11の地区（集落）からなります。縄文時代から続く地区もあり、多くの地区には様々な歴史遺産が遺されています。北陸最大数の古墳があることなどから「いにしえロマンの里 酒生」と自称しています。これら歴史遺産の保存と活用を目的に、酒生歴史散歩マップや酒生ふるさとカルタの作成、遺跡祭りなどを実施することで、住民同士の交流も深まってきました。歴史のみえる酒生、地区住民の自慢です。

一乗 公民館

一乗谷の歴史とともに



世帯数	288
人口	675



一乗地区は、福井駅から東南東へ約12kmに位置し、一乗谷朝倉氏遺跡や一乗滝、朝倉氏遺跡博物館など福井の観光名所を有する緑豊かな地区です。一乗谷の歴史を大切にしながら、まだ表に出ていない一乗谷の良い所を発見する事業を実施しています。また、少子高齢化が進んでいますが、色々な世代の方がいつでも楽しく集える公民館をテーマに各種事業に取り組んでいます。

棗 公民館

子供から高齢者までが
共存共栄できるまち



世帯数	524
人口	1,340



棗地区では、毎年6月に地区住民あがて「三里浜クリーン作戦」と題し、冬期間に海岸に打ち上げられたゴミの清掃活動を行っています。今年は小雨のなか、昨年より70名程少ない212名が参加しました。残念ながらゴミは年々増えており、昨年からはテクノポート企業の皆様にもお願いし、6企業35名の参加を頂きました。今後も子どもから大人、そして地元企業が一致団結し、三里浜の美しい海岸を守る活動を続けていきます。

鷹巣 公民館

豊かな自然と
地区の活力を満喫



世帯数	672
人口	1,579



鷹巣地区は市の西方に位置し、自然の砂浜と海岸段丘が続き四季折々の景観を楽しむことができます。地区では恒例の夏まつりを多くの人々が参加できるように、鷹巣海水浴場の駐車場で開催。キッチンカーやマルシェも加わり、地区内外から多くの参加があり大変盛り上がりしました。最後の打ち上げ花火では、花火の音と波の音が合わさって鷹巣らしい夏まつりとなりました。これからも、地区の観光資源を知ってもらおう工夫をしていきたいです。

上文殊 公民館

のびゆく上文殊
～つながる歴史と未来～



世帯数	604
人口	1,534



上文殊地区は、福井市南東部の田園広がる自然豊かな地域です。稲作が盛んで、奈良東大寺の荘園があった歴史を活かし『お米送り事業』として様々な交流を続けています。子どもたちが誇れる地域を目指し、大人たちも頑張っています。公民館では市の花・紫陽花のように多彩な世代が輝けるよう、笑顔あふれる地域でありつづけるために、地域の特色をふんだんに取り入れた“てんこ盛り”な事業を展開し、魅力ある地域を目指しています。

文殊 公民館

We all live together
as a community



世帯数	720
人口	2,053



文殊地区は、田園地帯であるが市中心部に近くアクセス環境も比較的良好な地域です。公民館は持続可能な地域づくりを意図した教育事業をはじめ、学校や地区の諸団体と連携した取り組みを実施しています。活動を通して、顔の見える関係をより深め、地域課題にゆるやかに応える動きにつなげていくことを方針としています。文殊山などの豊かな自然環境を守る運動も地域団体と一体になり実施。若い世代が地域活動に参画できる「場」づくりも進めています。